

南風

津島市立南小学校 校長室だより 第7号

平成26年 7月14日 (月2回発行)

南小 HP『南風学舎』ダイジェスト版

※ 合わせて南小学校 HP をご覧ください

『4年生 福祉実践教室 思いやりを育てます』

6月25日(水)、昼から4年生が福祉実践教室を行いました。「福祉」とはお互いが幸せになること。そして自分と自分以外の人に対して少し思いやりの気持ちをもつこと。「手話」「点字」「要約筆記」「車椅子」の4種類の中から、子どもたちが希望したコースで学習をしました。講師を務めた人たちから「南小の4年生の子どもたちはお話を良く聞いてくれた。素晴らしい」とお褒めの言葉をいただきました。お礼の歌もよく声が出て、気持ちが込もっていました。車椅子の吉田さんの体験も本当に素敵なお話でした。感謝一杯の福祉実践教室が終わりました。



5年生、野外教育活動（愛知県美浜少年自然の家）へ

30日(月)・1日(火)と知多半島の「愛知県美浜少年自然の家」に行ってきました。5年生の子どもたちにとって、家から離れて「自分の事はなんでも自分で行う」ことを学ぶ良い機会となりました。友達との友情や仲間意識を強くする2日間となりました。

まず最初に小野浦海岸(美浜町)で水遊びをしてから、皆で力を合わせ「砂の造形」を造りました。亀やいるかなど思い思いの作品を仕上げました。

楽しいバイキング夕食をとったあとキャンプファイヤーが行われました。エールマスターも火の神も子どもたちがやってくれました。まさに手作りの楽しいファイヤーとなりました。ボン・ファイヤーで各学級がスタンプに凝ってくれました。クラスの特徴が出ていて面白かったです。また「火の舞」は人数が多く、迫力のあるものとなりました。学校から8名の先生方が自主的に応援に来て下さり、一層楽しいファイヤーとなりました。さすがに子どもたちも感動して興奮していました。最後にファイヤーロードを歩きました。

※あわせて津島南小の学校ホームページをご覧くださいね。



1日はバイクキングの朝食をとったあとで、ウォークラリーに出発しました。少年自然の家周辺地図を頼りに歩きました。30分足らずでゴールに戻るグループがありました。そのあとで、皆で昼食づくりをしました。楽しい調理の時間となりました。やきそばをつくり、舌鼓を打ちました。どのグループもおいしく作ることができました。楽しい時間はあっという間に終了してしまいます。やきそばづくりが終わると美浜少年自然の家での生活も終わりでした。退所式では所長さんから「美浜出身の三吉（音吉・岩吉・久吉）」の話をお聞きしました。漁師であった彼らが台風によって漂流し、日本に帰国したい気持ちを持ち続け、アメリカで学問を修めて戻ってきた話を聞きました。彼らのように夢と目標を持ち続け、困難を克服する人になってほしいと話をまとめられました。

後に彼ら三人は『聖書』の日本語訳を創ります。私から「自分の事は何でも自分でしたか」「友達の知らない一面を見つけ、少しでも友達のことを思いやることができたか」について、最後に話をしました。

天気に恵まれ、予定の時間通り無事に学校に戻ってくることができました。

めざせ！ 津島の達人



⑥
南小の『五つの木』
について調べました。

五本の楠の中には、昭和13年の常盤町移転の頃からの木も写真で確認できます。「元気の木」「やる気の木」「根気の木」「勇気の木」「本気の木」いずれにしても、これらの楠は昭和から平成となる中で、学校のシンボルとなり、多くの卒業生を送り出しました。平成12年度、本校は文部省指定の「人権教育研究発表会」を開催しました。その時に「三つの木」として「元気・やる気・根気」をそして平成16年度に「勇気・本気」を加えて「五つの木」としました。これらの「五つの木」の話は、歴代校長の始業式の講話として語り継がれ、子どもたちは毎年どれか一つの「気」を出し、頑張ろうという子どもたちにエールを送る話になっています。

